

製品名: GM130 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe21380

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:113kD;Observed MW:130kD

抗原情報

遺伝子名	GOLGA2
別名	Golgin subfamily A member 2 (130 kDa cis-Golgi matrix protein;GM130;GM130 autoantigen;Golgin-95)
遺伝子 ID	2801.0
SwissProt ID	Q08379
免疫原	ヒト GM130 の合成ペプチド

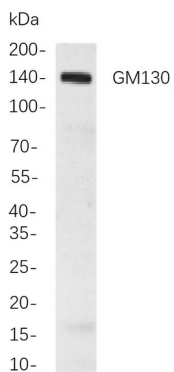
背景

細胞局在：細胞質。ゴルジ体は、分泌経路におけるタンパク質と脂質のグリコシル化と輸送に関与し、積み重ねられたシステナ（扁平化した膜嚢）の連続体から構成されています。ゴルジ体と微小管との相互作用は、有糸分裂中に断片化されたゴルジ体の再構成に重要であると考えられています。この遺伝子は、ゴルジ体に局在するタンパク質ファミリーであるゴルジンの1つをコードしています。このタンパク質は、ゴルジ体システナの積み重ねと小胞輸送に関与すると考えられています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエントがいくつか報告されていますが、これらのバリエントの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2010年2月]

研究分野

-

画像データ



GM130 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。